

動物の診察室から

○ 24 ○

早いもので、この連載も一年になります。以前より、どうして獣医さんになったのですかと聞かれることがあり、今回と次回は私が獣医師になるまでを書いてみたいと思います。

私が小学生のころ、「名犬ラッシー」というテレビドラマがはやったせいもあり、わが家では「アニー」という名のコーリ犬を飼っていました。そのころは犬フィリア



ずっと犬と一緒に生活。現在のパートナー、ミニチュアダックスの「びっぴ」

獣医師になったわけ(上)

愛犬の病死ずつと心に

ビドドラマがはやったせいもあり、わが家では「アニー」という名のコーリ犬を飼っていました。そのころは犬フィリア

ツクを受けました。そして、このアニーの死は、私が獣医師になってからも大きな影響を与えていくのでした。

高校時代はバスケットボールで、三年生になって部活を引退したころ、やっ

なかつたのですが、受験する大学を決める時に、ふと、アニーのことを思い出しました。そのころわが家には秋田犬の「五郎」がいました。つらそうに死んでいったアニー

大学では、みんな犬を飼う「ケネルクラブ」に入部し、一、二年生の時は週の半分は、犬たちと朝まで一緒にいる生活を送っていました。三年生になると、アニーが死んだ原因、犬フィリアを心臓から摘出する手術を行っていた外科の教室

考えるようになりました。そして、一年間浪人した後、武蔵野市の獣医学へ進みました。

研究室で過ごす日々を送っていました。獣医学にはよく猫が捨てられるのですが、三年生の夏、私は捨てられた子猫を飼うことになりました。トラ猫なので名前「トラちゃん」。トラ

